

VI 薬効薬理に関する項目

1. 薬理的に関連ある
化合物又は化合物群

シニストリン (sinistrin)

2. 薬理作用

(1) 作用部位・作用機序^{2,3)}

イヌリンは薬理活性を有しないことが報告されている。

(2) 薬効を裏付ける試験成績^{2~5)}

静脈内投与されたイヌリンは、糸球体毛細血管を自由に透過し(透過率Kinulin=1.06)、尿細管では分泌も再吸収もされないことから糸球体ろ過量(GFR)測定のための標準物質として用いられており、真のGFRを示すとされている。